

# としょかんだより



No. 1

1985年10月

## 香川大学附属図書館「としょかんだより」 発行について

香川大学附属図書館長

国分 寛

昨年四月中広前館長からの事務引継を受けた時、中広館長が意図されていて、御在任中に実現できず残念であったが、次期には是非とも実現を期待するという一項がありました。それが「としょかんだより」の発行です。その時には、次期には何とか実現を計りましょうとお引受したものの、今に至るまで放任してしまったことを申訳なく思っております。

今年度の中四国大学図書館協議会の際、島根大学附属図書館を見学する機会を得ました。同図書館は、今春書庫の増築が完成して、総

延数6,826㎡の図書館になりましたが、この増築完成の様子が「図書館情報」№35で詳しく報告され全学教職員、学生に周知されていきました。私達の香川大学では昭和57年度に中央館の増築が行われ、昭和59年度には農学部分館が増築されました。その都度図書館委員会を通じて報告しておりますが、全学周知には、今一つ徹底を欠いている感がしてなりません。

現在、全国の国立大学図書館からは、全国共同利用資料として文部省に「大型コレクション」図書資料が要求され、毎年その中の数件ずつ全国の国立大学図書館に備付けられています。これらの図書資料は、整理されしだいその利用について全国大学図書館に案内があります。昨年私が図書館に参りましてからも、北教大図書館報№38で英国教育史関係コレクション(425冊)、お茶の水女子大学女性文化資料館図書として、女性史コレクション(フランス、スペイン、ポルトガル、アフリカ、アメリカ、イギリス、ドイツ等)232冊、筑波大学附属図書館から国家社会主義法、等がありました。その都度関係あると思われる教室にご連絡はしましたが、やはり隔靴掻痒の感を免れ得ません。このような時に、本学図書館情報誌の必要性をひしひしと感じていました。

|       |                 |       |
|-------|-----------------|-------|
| ***** | 目次              | ***** |
| *     | 香川大学附属図書館「としょかん | *     |
| *     | だより」発行について      | *     |
| *     | .....           | 1     |
| *     | 分館利用案内          | *     |
| *     | .....           | 2     |
| *     | 新着図書案内          | *     |
| *     | .....           | 4     |
| *     | 大型コレクションの案内     | *     |
| *     | .....           | 5     |
| *     | EC(欧州共同体)資料の案内  | *     |
| *     | .....           | 6     |
| *     | 図書館休館予定         | *     |
| *     | .....           | 6     |
| ***** |                 | ***** |

本学図書館の情報誌発行については、過去にも何度か話し合わせ、計画もされましたが、実現に至らない原因は、費用と人手の問題があるからです。例えば印刷についてみても、外部に発注してプリントするのが、現状ではとても難しいことは明らかです。しかし、発行する以上あまりみじめなものは発行したくないことも理です。種々プリントの方法を考えてようやくワープロ利用に落ち着き、これで発行を試みることにしました。つぎの困難の壁は人手です。人手については、現在の図書館スタッフ全員が協力する以外にありませんので全員で努力することにしました。“としょかんだより”№1はこのようにして誕生したものです。

本学の図書資料も59年度に50万冊を超えました。年間購入数も2万点を超えています。

学部数も学生数も増加しておりますが、図書館職員数は以前と同じです。このような状況下での情報誌の発行ですから、毎月発行とはまいません。恐らく年間数回になると思います。したがって、ニュース速報的なものは、本誌で対応することは出来ませんが、内容については、発行担当を中心に協議しながら、出来るだけ豊富になるように努力します。図書館行事、図書館業務、新着基本図書案内、その他の新着図書案内、図書館利用状況、他大学図書館の情報及び学内教職員、学生からの寄稿等になると思います。

香川大学附属図書館として初めての試みであり、暗中摸索の点もありますが、発行を長期的なものにしなければなりません。そのためにも全学教職員各位及び学生諸君の御協力をお願いいたします。

## 分館利用案内

附属図書館農学部分館長

山本 喜良

農学部分館では蔵書の増加にともない、昨年度に書庫の増築と閲覧室などの拡張工事を終え、蔵書、雑誌などを1階から3階に分けて配置がえをおこないました。とりわけ2階閲覧室を広くとり、利用頻度の高い総記類、新刊雑誌を揃え、さらにその隣の書庫には学生参考用図書などが置いてあります。閲覧室は学部管理棟の中にあり、また教官の研究棟とも直結されているので、その点図書室的な雰囲気を手軽に利用してもらっております。利用の手続きからも、事務室を中央に閲覧室複写室がそれぞれ隣合っており大変便利にな

っています。このようなことから、各教官の教育研究に必要な雑誌については特別なもの以外はそれぞれの研究室に置かないで一括して図書館に置いて必要な人はだれでも利用できるようになっており、各研究室で重複して購入することはありません。従って学部として必要な雑誌は毎年学部で一括して購入しています。私も他の大学の図書館、分館の事情は多くは知りませんが、少なくとも私の知るかぎりでは利用し易さの点では良好だと自負しています。さらに事務量は多くなりますが近着雑誌のコンテンツサービスを行っており利用される皆様からも好評をいただいております。

これからはいろいろの情報が飛躍的に増大することでしょう。情報化社会にとって大切なことは、大量の情報をどのように整理してそれから得られる知識を各自が上積みしてゆくことが重要と考えられ、その点で図書館の果たす役割は益々増えると思います。

科学と毎日取り組んでおられる皆様が図書館の利用によって得られた情報が、新しい立派なアイデアを生む原動力になり得るよう私共図書館員全員が願っています。

### 原稿募集

真夏の日差しが照りつける頃計画してやっと創刊号をお届けすることが出来ました。館長も書きましたように、利用者と図書館を結ぶミニコミ誌として計画しました。利用者の皆様のご寄稿をお待ちしております。

図書館に対する要望、不平、不満、質問等も結構です。又、読書感想文や図書館や本についての随想でもかまいません。ご寄稿頂ける方は下記までお願いします。

☆原稿提出先

中央館2階閲覧カウンター

農学部分館カウンター